

ゴキブリ駆除のキメテです。

ITD-F.A.

クラック・クレバス処理用ゴキブリ駆除薬



 住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社

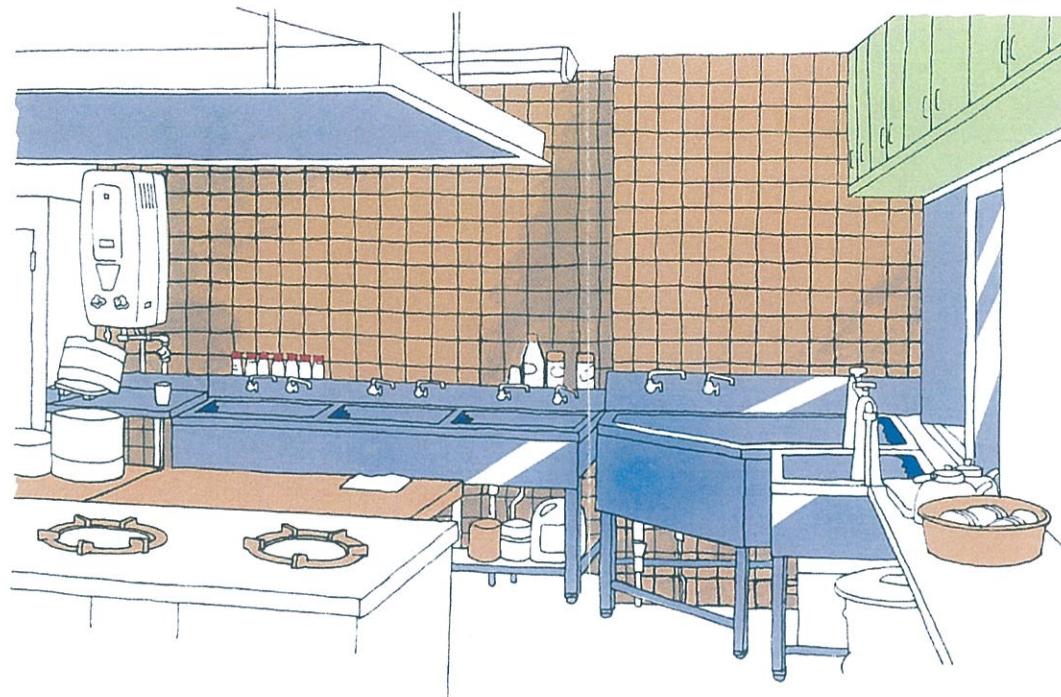
クラック・クレバス処理用ゴキブリ駆除薬 エヤローチAの使用ポイント



保管容器の下部、周辺
比較的人目につきにくく、
しかも汚れがちなため、潜み
場所や餌の摂取場所となる。

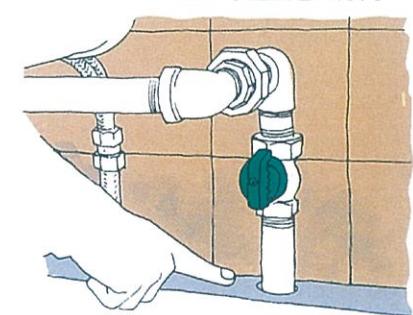


湯わかし、パイプの裏側

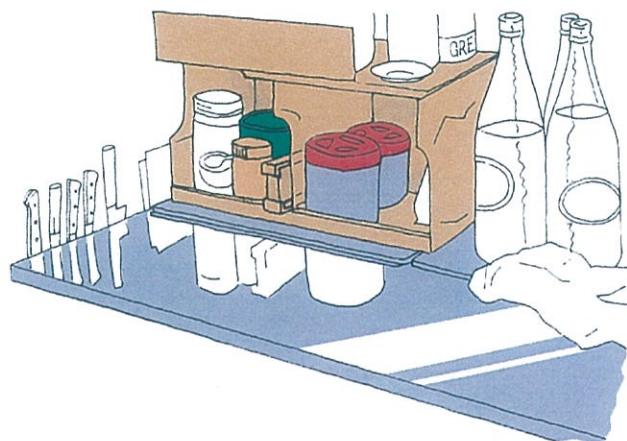


ステンレス板と壁、裏板との隙間

ゴキブリは水と食物を別々に摂取し、このような場所に水を求めて現われる。夜間によく徘徊している。残留処理を要する箇所である。

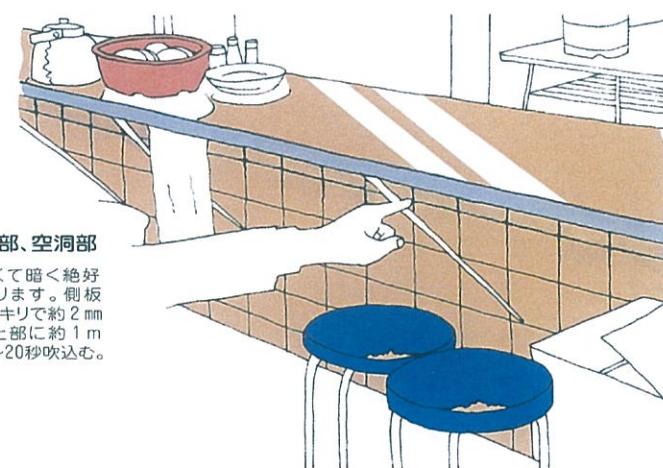


ガス・水道配管の隙間



戸棚の中、棚板の裏側、
下側の空洞部

食品で、汚れやすいため、
ゴキブリが餌を求める場所でもあり、棚板の裏の空洞部は潜み場所ともなる。食品をかたずけて塗布、空洞部への吹込みをする。



カウンターの内部、空洞部

空洞部は暖かくて暗く絶好の潜伏場所となります。側板に隙間がない時はキリで約2mmの小穴を側板の上部に約1mの間隔で開け、10~20秒吹込む。

ゴキブリ

駆除のポイント

ゴキブリの潜伏場所は暗くて暖かく、水分と食物の摂取に好都合な狭い隙間のような場所に多い。ゴキブリは群居性があり、その場所には糞が多数こびりついており、そこから餌や水を求めて夜間に活動する。食性は非常に雑食性で、人間の食物はすべて餌となり、その他に人糞などの汚物、書籍ののり、ビニール製品などもかじる。

残留噴霧などで処理が困難な次のような所にエヤローチAを用い、ひそんでいるゴキブリを直撃駆除し、合せて残留処理して下さい。

隙間、割れ目から、またはキリで2mm程度の小穴をあけノズルを差込んで10~20秒噴射して下さい。

- カウンターの内部、空洞部
- 戸棚や引出しの中や裏側

隙間から噴霧液が流れ出るまでノズルを用いて吹込んで下さい。

- 廉房の調理台、水回りのステンレス張の裏側
- 壁、天井の隙間
- 張紙の裏
- 天井、壁の穴あきボードの穴、隙間、裏側
- タイルのはがれた裏

隙間に沿って噴射液が若干流れ出る程度にノズルを用いて吹付けて下さい。

- 水道、ガスなどの配管部の隙間
- 温水配管のまわり、隙間
- 排水口の蓋の裏側

配線、通電箇所に噴霧液がかからないように注意し、液が流れない程度にノズルを用いて塗布して下さい。

- 配電盤やコンセントまわり
- 蛍光灯、照明器具の裏側
- 湯わかし、冷蔵庫、レンジの裏側

〔使用上の注意〕

1. 本品は塗布剤であるから空中に噴霧しないで下さい。
2. 皮膚、飲食物、食器、小児のおもちゃ又は飼料にかかるぬようにして下さい。家具、建具などの前に直接噴射しないで下さい。
3. 噴霧塗布する際は噴霧気体を吸入しないようにして下さい。
4. 皮膚についたときは石けんと水でよく洗って下さい。
5. 火気を避け、なるべく冷所で小児の手の届かない場所に貯えて下さい。
6. 火焰に向って使用しないで下さい。
7. 噴射中、噴射する人以外の入室を避け、噴射後室内の空気が外気と交換後入室して下さい。
8. 空容器は火気のない屋外で噴射音がなくなるまで十分ガス抜きをした後、可燃物と区別して廃棄して下さい。

PCO専用

ノズル付
ゴキブリ駆除薬 エヤローチA (エアゾール)

〈防除用医薬部外品〉

ゴキブリが主に住んでいる所はどこでしょうか。それは「すき間」それも狭いすき間の中が圧倒的に多くなっています。このような場所をゴキブリの生活史に合わせて重点的に攻撃するのが完璧なゴキブリ駆除のポイントです。そのような所へは現在使用されている噴霧器による吹きこみでは奥の方まで薬剤が到達することはなかなか望めません。煙霧、燐煙にしてもそのような狭い「すき間」に充分到達しにくい所や、乳剤散布による濡れを好まぬ場所や感電の恐れのある場所等の用途にノズル付きエヤローチAが威力を発揮します。

*日本のゴキブリの種類

種類	チャバネゴキブリ	クロゴキブリ	ヤマトゴキブリ	ワモンゴキブリ
分布	日本全土	関東以西	日本の中央部	南日本の暖かい地方だけ
成虫	体色 黄褐色	黒褐色	黒っぽい栗色	茶褐色
	大きさ 最も小型	大型	大型	最も大型
	特徴 胸背面に2本の細い黒斑がある。	体、翅とも非常に光沢がある。翅は雌雄とも尾端より長い。	雌成虫は翅が短く、腹部の半分までしかない。	前胸背面板に黄褐色の環状の斑紋(輪紋)がある。
主な生息箇所	飲食店、旅館、ビル、船、アパートなどの暖房のあるところ。	民家、飲食店、倉庫。	民家、アパート、物置ごみ箱。	民家、病院、アパートなどの台所や流しの下、押入
成虫				

チャバネゴキブリ

チャバネゴキブリの成虫は羽化後数日で交尾を行ない、4~6日で産卵し、卵がふ化するまで、卵鞘を尾端につけている。ふ化した幼虫は6令を経過して成虫となる。幼虫期間は約100日間で成虫の寿命も100日余りである。

ワモンゴキブリ

暖期には2~7日に1回、寒冷期には1~2週間に1回産卵し、一生に約50卵鞘も産卵する。幼虫は6~7回の脱皮を行ない幼虫期間は約1年、成虫の寿命は雄で6~14ヶ月、雌で3~25ヶ月くらいである。

クロゴキブリ

成虫は羽化後約1週間で交尾し、約10日後に産卵し、1卵鞘に約20個の卵が入っている。幼虫期間は数ヶ月から1年余もかかり、9~12回脱皮して成虫となり、一般に20回近く産卵する。成虫の寿命は約半年とされている。